

I 上関町小中一貫教育構想

1 基本理念

郷土愛と生きる力を育む小中一貫教育の推進

本町学校教育では、児童生徒一人ひとりを大切にし、時代の要請にそった教育推進の中で、現状と課題を正しく把握し、一人ひとりのよりよい人生とよりよい社会を築いていくために、新しい時代に即した小中学校の振興と教職員の資質の向上をめざしている。

本町では、平成18年（2006年）の統合小学校の新設開校を契機に、小中一貫教育に取り組んでいる。義務教育9年間で上関町の子どもを見守り育てる中で恵まれた自然的、社会的環境を生かし「郷土愛と生きる力を育む小中一貫教育の推進」を本町教育の基本理念とし、21世紀を生きる、心豊かでたくましい児童生徒の育成を図る。

2 小中一貫教育の目的

(1) 一人ひとりを伸ばし育む教育の創造

教育というものは、一人ひとりのためにあるものである。小中学校がめざす児童生徒像を共有し、長いスパンでできるだけ多くの教職員が一人ひとりの子どもに関わり、子どもを深くとらえ続け、成長を支援していく。

(2) 教職員の資質の向上

義務教育9年間で児童生徒を育てるという構えをもち、恵まれた自然的、社会的環境を生かした教科等横断的なカリキュラムをマネジメントし、共同の授業研究などを通して、小中学校教職員がお互いに学び合い、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう資質の向上を図る。

(3) 地域の活性化と教育力の向上

小中一貫教育とコミュニティ・スクールとの連動によって、学校・家庭・地域などが連携し、恵まれた地域の環境や条件を生かした教育活動を実践することを通して、地域の活性化と教育力の向上を図る。

3 めざす児童生徒像

夢や志をもち、他者とかかわり、自らを高めていこうとする子

(1) 夢や志をもつ子

一人ひとりの子どもたちが自分のやりたいことを見つけ、大きな夢や志を抱き、自らの人生を切り拓いていくために必要な力を育てていくことが大切である。教育においては、一人ひとりが自らのよさや可能性を十分に発揮し、よりよい社会とよりよい人生を自ら創り出していけるように支援していくことが重要である。学校教育では思いや願いをもって学習や学校生活に臨むことができるようにすることが大切である。

そのためには、一人ひとりをより深く捉えることが必要である。一人ひと

りの理解を十分に図り、どのような支援が必要か有効かを考えていく構えをもつことが大切である。

自然体験や社会体験等の体験活動は、他者の存在意義を認識し、社会への関心を高めたり社会との関係を学んだりする機会となり、自己の生き方を考えるきっかけともなるので、学習の中に多く取り入れることが重要である。

(2) 他者とかかわる子

自分を高めよりよい社会を築いていくには、自分とは違う考えをもつ人の声に耳を傾けたり、論議して考え合ったりすることが必要である。

学校は、今を生きる子どもたちにとって、未来の社会に向けた準備段階としての場であると同時に、現実の社会との関わりの中で、毎日の生活を築き上げていく場でもある。学校そのものが「小社会」であり、様々な人々との関わりながら学び、その学びを通して、自分の存在が認められたり、みんなの役に立ったりといった実感をもつことができる。学習の中では、他者とかかわり話し合うことによって、自分とは違った見方や考え方にふれ、自分を高めていったり、全体としてより深い集団に成長していったりすることもできる。

そのためには、相手の意見に真剣に耳を傾ける姿勢とともに、聞いたことを理解したり、伝えたいことを表現したりする力が必要になる。他者とかかわることによって自分も全体も高まったという経験を積むことで、話し合うことや議論することの意義を自覚することができる。

自らを高めていくためには、他者の前で、自分独自の見方や考え方などをしっかり表現し、そのよさを他者から認められたり、自分自身が気付いたりする経験が必要である。このような学習活動の中で自信をもつことで、自己肯定感を高めていきたい。

(3) 自らを高めていこうとする子

子どもは、自らの成長を願い、そのために努力する存在である。子どもは、何かがうまくできて認められたとき、さらに自分から新しい課題を設定して取り組んでいこうとする。一人ひとりのふるまいや言動の中に、自立や成長への願いや努力を読み取り、それを支え手助けすることによって、一人ひとりが自らを高めていこうとする気持ちを育てていくことが大切である。

子どもたちが変化の激しい世の中を生き抜いていくためには、いかなる状況においても自らを高めていこうとする意欲を身に付けておくことが大切である。様々な課題にぶつかったとしても、それを解決するための方法を自分なりに見出し乗り越え、自分を成長させていくことが必要である。自らを高めていこうとする意欲を高め、よりよい自分やよりよい社会を築こうとする態度を育てていきたい。

上関町では、中学校卒業後の子どもの姿をもイメージしながら、上記の児童生徒像を共有し、その実現に向けた9年間の義務教育をめざしていく。